

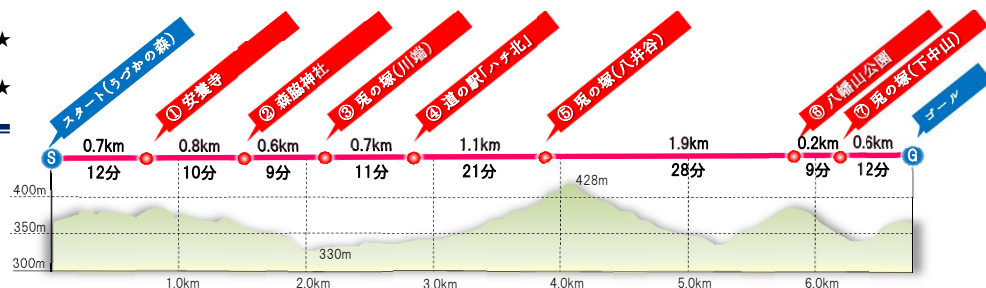


兔の塚伝説 うづかの歴史コース

スポーツ
健康維持 ★★★
リラックス ★
歴史・街歩き ★★★
自然・風景 ★

兔塚(うづか)と呼ばれる由来となった三羽の古兔伝説。かつて山名氏が陣屋を構えた八幡山からは、城下町として栄えた福岡のまちを見渡すことができ、八幡神社と横穴式石室の古墳群が古の空間を創りだしています。

お問い合わせ/うづかの森(香美町村岡区森脇230) ☎ 0796-96-0024



Plan&wellness data

▼ 距離 約 6.7 km
▼ 時間 約 112 分
▼ 歩数 約 11,800 歩
▼ 消費カロリー 約 315 kcal (カレーパン 1個分)
▼ 運動強度 9 ~ 14
▼ 標高差 約 100 m



兔塚(うづか)の由来と伝説

昔、森脇村の大森の池に大蛇が住んでいて、人や牛、馬を襲って呑み込むので、住民は恐れて困っておりました。これを聞いた帝が勅命を下して、弓の名手である日下部政高という人に、大蛇を退治するように命じました。政高が大蛇退治すると、兔伏野(うわの)に住む三羽の古兔が妨害しました。政高はまず、この三羽の古兔を退治し、それから大蛇を退治しました。その後、この時に退治された兔が七匹、住民を困らせたので、兔の霊を鎮めるために、一羽は下中山に、一羽は川端に、一羽は八井谷に塚を建てて祀りました。この頃から、この地方を兔塚と呼ぶようになったといわれています。(村岡の民話より)

お問い合わせ/香美町村岡観光協会 ☎ 0796-94-0123

① 安養寺と斑狐の岩

阿彌陀如来を本尊とする真言宗の寺院で、不動の滝や枝垂桜などが参拝者を迎えてくれます。境内には聖武天皇の時代に紀伊熊野より配流された公家の西殿の庵跡があり、入口付近にある稻荷神社には、西殿をこの地へ導いた斑狐と、稻荷大明神と称された西殿が祀られています。和池の集落内には、西殿が連れていた斑狐が座ったとされる岩があり、それが和池集落の発祥の地とされています。

安養寺 ☎ 0796-96-0250



③ 兔の塚(川端)

福岡集落北側の大野川のほとりに祀られた塚。民家裏と川との間にひっそりと佇んでいます。訪れる際には、私有地を通るため管理者への声かけが必要です。

お問い合わせ/井上さん ☎ 0796-96-0008



⑥ 兔の塚(下中山)

八幡山の麓、向かい側は大谷川を挟み小高い丘に森脇集落が位置しています。下中山の塚は八井谷のものに似ており、かつては石室を覗くことができたが、転落防止のため、現在は入口にリキードが設置されています。



⑤ 兔の塚(八井谷)

弦の巻いた枝が大きく広がっている樹と、石室のよう積み重ねられた石が伝説の地である雰囲気を感じさせている塚。八井谷(やいざご)峠の国道9号(但馬トンネル)入口付近の山側に祀られています。



道の駅「ハチ北」

地熱を利用した融雪設備で積雪時でも安心して利用できる道の駅。軽食・喫茶レストランが併設されており、但馬牛を使った牛丼やカレーうどんがおすすめです。お土産には地元でとれた家庭菜園物や有機農産物の特産品、スモークハムなどの加工品をどうぞ

営業時間/ 8:30~18:00
(レストラン) 9:30~17:00
休業日/ 火曜日
☎ 0796-96-1600



うづかの森

旧中学校舎を改修したスポーツ・文化などの合宿が行える体験宿泊施設。自然の大切さと人とのつながりを学び、「生きる力」の育成を目的とした田植えや稲刈りなどの農業体験やマルシェ(交流市場)、本格的なお酒やフロの音楽が楽しめるうづかの森BARなどをしています。ジオパークガイド3名が常駐し、トレッキングやルディックウォークなどのアクティビティイベントも随時開催しています。

香美町村岡区森脇230 ☎ 0796-96-0024

